

第8回有機触媒シンポジウム

「有機分子触媒による未来型分子変換」

第5回公開シンポジウム

日時： 2015年5月10日(日) 9:55-5月11日(月) 15:00(予定)

会場： 沖縄県市町村自治会館・自治会館ホール

プログラム

5月10日(日)

9:55-10:00 挨拶 寺田 眞浩

10:00-11:00 座長 寺田 眞浩

10:00-10:20 IL 1 中村 修一 (名工大院工)
配位性官能基導入による高機能性不斉有機分子触媒の創製研究

10:20-10:40 IL 2 淵辺 耕平 (筑波大数理物質系)
有機分子触媒によるジフルオロカルベンの発生制御と合成化学的利用

10:40-11:00 IL 3 坂倉 彰 (岡山大院自然)
ハロゲン結合によるヨウ素化剤の活性化を鍵とするエナンチオ選択的
ヨードラクトン化反応の開発

11:00-11:20 休憩

11:20-12:20 座長 秋山 隆彦

11:20-11:40 IL 4 荒井 孝義 (千葉大院理)
触媒活性部位近傍に水素結合能を有する不斉ヨウ素触媒の開発

11:40-12:00 IL 5 柴富 一孝 (豊橋技科大院工)
新規キラル一級アミン触媒の開発と分岐型アルデヒドの不斉フッ素化
反応への応用

12:00-12:20 IL 6 鈴木 由美子 (上智大理工)
NHC 触媒反応の反応解析・基質拡大・天然物合成への利用

12:20-13:30 昼食

13:30-15:30 ポスター発表

13:30-14:30 奇数番号

14:30-15:30 偶数番号

15:30-16:30 座長 竹本佳司

- 15:30-15:50 IL 7 加納 太一 (京大院理)
ビナフチル型アミン有機触媒による位置及び立体選択的共役付加反応の開発
- 15:50-16:10 IL 8 飯田 拡基 (島根大院総合理工)
らせん状ポリフェニルアセチレンを用いる高分子不斉触媒の開発
- 16:10-16:30 IL 9 菅 誠治 (岡山大院自然)
水素結合性極性基を有する不斉求核触媒の開発
- 16:30-16:50 休憩

16:50-17:50 座長 北 泰行

- 16:50-17:10 IL10 南方 聖司 (阪大院工)
ハロアミド塩を活用する触媒的 N1 ユニット導入法の開発
- 17:10-17:30 IL11 佐藤 敏文 (北大院工)
有機分子触媒を活用した環境低負荷な機能性高分子材料の合成
- 17:30-17:50 IL12 田中 正一 (長崎大院医歯薬)
環状アミノ酸を用いたペプチドヘリカル2次構造の精密設計とその応用
- 18:00-20:00 懇親会 — 自治会館 4階 大会議室 —

5月11日(月)

9:30-10:30 座長 寺田 眞浩

- 9:30-9:50 IL13 村井 健一 (阪大院薬)
トリスイミダザリンの分子認識能を利用する不斉触媒システムの開発
- 9:50-10:10 IL14 根本 哲宏 (千葉大院薬)
キラルアミン触媒を用いる不斉アジリジン化を利用した生物活性化合物合成
- 10:10-10:30 IL15 西林 仁昭 (東大院工)
ルテニウム/リン酸アミド-ハイブリッド型触媒による
協奏的不斉プロパルギル位アルキル化およびアミド化反応の開発
- 10:30-10:50 休憩

10:50-12:10 座長 林 雄二郎

- 10:50-11:10 IL16 山中 正浩 (立教大理)
キラルプレンステッド酸触媒による制御システムの理論的研究

- 11:10-11:30 IL17 小西 玄一 (東工大院理工)
新しい電子移動パラダイムに基づく有機光レドックス触媒の開発
- 11:30-11:50 IL18 澁谷 正俊 (名大院創薬)
有機ニトロキシラジカル触媒による選択的酸化反応の開発
- 11:50-12:10 IL19 金井 求 (東大院薬)
ホウ素触媒によるカルボン酸の化学選択的エノラート化と応用
- 12:10-13:30 昼 食
- 13:30-14:50 座長 秋山 隆彦
- 13:30-13:50 IL20 波多野 学 (名大院工)
キラル 3,3'-二置換ピナフチルジスルホン酸を用いる
高活性有機分子触媒の精密設計
- 13:50-14:10 IL21 雨夜 徹 (阪大院工)
 π 共役系分子のレドックス機能を活用する有機触媒システムの構築
- 14:10-14:30 IL22 岡 夏央 (岐阜大工)
キラルブレンステッド酸触媒を用いる不斉ホスホロアミダイト法の開発
- 14:30-14:50 IL23 田中 富士枝 (沖縄科学技術大学院大)
高性能アミン触媒システムの開発
- 14:50-15:00 閉会 (ポスター賞発表)

— 終了 —